



CONTENTS

- **地域振興**
新体制スタート、防災力の強化を
- **生活安全**
委員長あいさつ、春の交通安全運動
- **子どもを育む**
委員長あいさつ、各地区の活動
- **環境衛生**
ごみの減量を
- **健康福祉**
委員長あいさつ、年間計画について
- **消防団**
小型ポンプ飯田市消防技術大会優勝

コラムかなえ

5月末、下茶屋地籍にあった元鼎幼稚園跡地(市有地)に新たに「かなえ中央公園」ができあがりました。

県の中で関係する地区が管理する公園としては5番目となり、下茶屋区と中平区で愛護会をつくり管理していくこととなります。また防災公園としての位置づけなので、遊具などはありませんが、子どもたちも安心して遊べます。

県の中心部には、一定の広さがあり、日常的に多目的に使える広場がありませんでした。そのため、地元の下茶屋区では数年に亘り、区民アンケートを取るなど、県地区まちづくり委員会へ要望を提出するとともに、中平区では国の土地である「前圖書館跡地を公園に」と市に働きかけ、実現してきた経過があります。

県地区まちづくり委員会

「地域の防災力の強化」を最重要課題に位置付け新年度がスタート

県地区まちづくり委員会では、4月19日に県文化センターホールで令和6年度総会を開催し、令和5年度の事業報告・決算報告、令和6年度の事業計画案、予算案が全会一致で承認されました。地域の防災力の強化のほか、県道青木東県線下山工区の早期着工、複合公共施設の建設に向けた取り組み、リニア中央新幹線松川工区の安全対策、組合未加入対策などの「重点課題」に加え、持続可能な地域自治組織への見直しなど「主要課題」に取り組んでいくことが確認されました。



会長 奥村 充由

この度、会長という重責を担わせていただくことになりました。非力ですがよろしくお願いたします。

本年度の重点課題のトップは「安心安全のまちを造る防災体制の充実」です。

近いうちに必ず来るといわれている大地震や水害に備えて十分な準備が必要です。

大掛かりな研修や訓練だけでなく、地域の会合や行事等、人の集まるあらゆる機会を利用して「ミニ講座」や「準備確認」をしましょう。

女性の意見や要望を取り入れられる仕組み作りも大切です。高齢者等、自分で避難することが困難な人を助けるためには、中学生や高校生の協力が不可欠かもしれません。

どこにだれが住んでいるのかわからないようでは「安否確認」もできません。そのためにも組合加入は有効です。行事や事業に積極的に参加していざという時に助け合える地域を作っていきましょう。

総務文教部



部長 牧島 龍雄

総務文教部長を仰せつかりました上山の牧島と申します。任務を前に戸惑うばかりですが、皆様のご支援をいただきながら自分なりに努力したいと思っております。

総務文教部の重要課題に組合未加入者対策があります。組合未加入率は減少傾向。背景には隣組、自治会に対する意識の変化、人口の減少、住民の高年齢化等々があると思われる、更にこうした状況の進行が様々な分野で地域の課題として噴出してきているように感じています。

組合未加入者対策とは、見方を変えれば自治会そのものへの問いかけへの対応だと思えます。その他多くの課題もあります。その多くはコミュニティの大切さにご理解をいただけるよう、一つひとつ地道に取り組むを進めるべく努めてまいりたい所存です。よろしくお願いたします。

産業経済部



部長 須山 一博

この度、産業経済部長の任を仰せつかりました一色区の須山と申します。思わぬ大役で、大変身の引き締まる思いです。県地区は飯田市の中でも商業施設・医療施設・交通網等に恵まれており、また、自然にも恵まれ大変住みよい良いまちだと思っております。これから先何年かが過ぎ、今の子どもたちが少しでも「自慢できる故郷、県」であるように尽力できたらと思っております。

産経部の活動の中に財産区の整備事業や、妙琴公園のモミジの木の下草刈り等を関係団体の皆さんと共に維持管理を行っております。これらの活動は、中々目に見える効果は出てきませんが「環境に配慮した持続可能な取り組み」であり後世に残したい事業の一つであると思えます。他の部員の方々と共に取り組んでいきたいと思えます。

建設部



部長 前澤 清隆

新年度を迎え、まちづくり委員会の建設部長として再任いたしました切石区長の前澤と申します。どうぞ宜しくお願い申し上げます。最初に能登地方で発生した地震について申し上げます。ご冥福をお祈り申し上げますと共に、当地域で同様な地震が発生した事を想像すると他人事ではありません。防災に大きな目を向ける必要があります。更には真剣に考える必要があると感じました。さて、県地区で懸案とされている県道青木東県線下山工区につきまして、早期着工を願うところであります。更には、リニア中央新幹線松川工区についても安全対策は基より、妙琴線の拡幅工事も同様に早期着工が請われております。建設部といたしましてはそれぞれ目を向けていかななくてはなりません。早期着工に向け、更に申し入れをしていくことといたします。

自主防災部



部長 奥村仁司

この度自主防災部長を担当いたします。地域防災の為に精一杯務めさせていただきます。本年は元日より能登半島地震が発生し大きな被害を目の当たりにいたしました。私たち地域も災害が差し迫っております。

本年度は重点項目に「安心安全のまちを造る防災体制の充実」があげられております。この課題に沿ってこの地域にとって何が必要なのかを考えてまいります。防災意識の共有化としていろいろな場面で防災講習等を行いたいと思います。毎年行われている防災訓練は実際の災害時に即したものが見直し、より実践的なものとしていきたいと考えます。特に安否確認方法について、より確実なものを検討したいと思っております。地域の皆様がお互いの安全を確認し合えるまちづくりの一助ができるよう努力してまいります。

広報部



部長 松澤政明

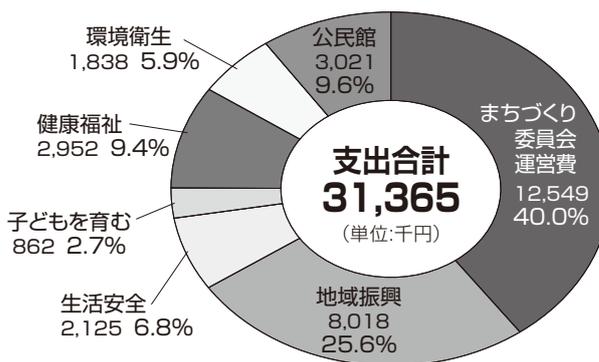
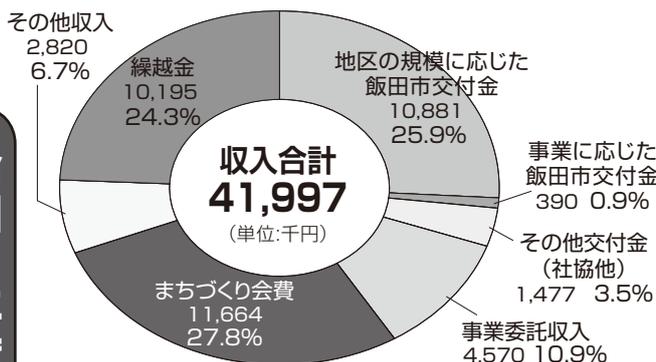
このたび、鼎地区まちづくり委員会、令和6年度、7年度の広報部長を務めることとなりました、下茶屋区の松澤と申します。

広報部門は、初めてのことであり、鼎地区の皆様には、ご迷惑をおかけするかもしれませんが、広報部員の皆様、また、事務局の方々のご協力を得ながら、誠心誠意頑張っております。

本年度の重要課題として、近未来の災害を想定し、防災体制の充実が挙げられております。

広報の重要な役割の一つとして、住民同士の絆を築くことが挙げられており、防災の一助になればと思っております。また、地域の皆様の多様なニーズに corresponderため、開設された鼎のホームページ『人ヲ鼎ル』を、運営する方々と共に、皆様のご意見、ご提案を取り入れ、充実してまいります。

令和5年度決算



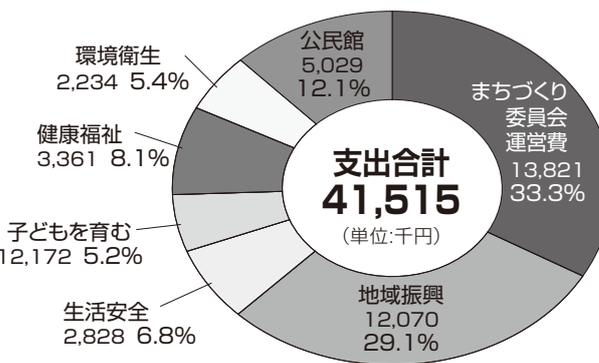
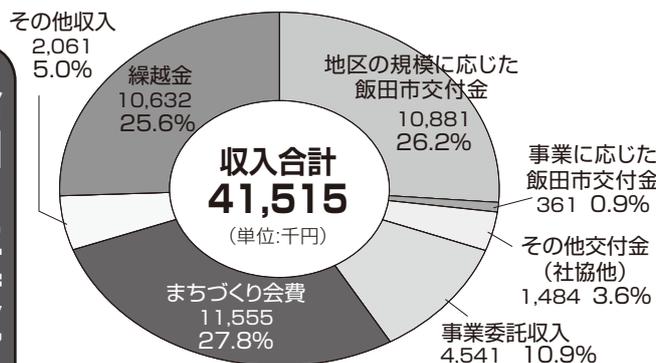
新型コロナウイルス感染症が5類へ移行したことで行動制限が見直され、これまで実施を見送ってきた各種事業も再開されました。令和5年度は、感染対策に配慮しつつ、従前どおりの活動を実施することができました。皆様方からご協力をいただきました「まちづくり委員会会費」のほか、飯田市からの交付金や事業委託収入などを活用し、事業を実施しております。令和5年度の決算状況をご報告いたします。

- 【取り組んだ重点課題】
- ◇ 県道青木東線下山工区の拡幅早期着工と車川越水対策
 - ◇ 公共施設の「複合施設建設」に向けた取り組み
 - ◇ リニア中央新幹線松川工区の地元的安全対策
 - ◇ 組合未加入対策と組織基盤の充実
 - ◇ 持続可能な地域自治組織づくり

- 【その他の取り組み】
- ◇ パワーアップ事業による地育力向上
 - ◇ 自然と文化の継承によるふるさと創生
 - ◇ 安心・安全なまちづくりに向けた防災体制の充実
 - ◇ 各種団体との連携による地域の絆づくり など

皆様のご理解とご協力によりまして、事業が実施できましたことにお礼申し上げます。

令和6年度予算



本年1月に能登半島地震が発生し、コミュニティにおける災害時の支えあいが問われています。令和6年度は、地域防災の在り方を見直し、一人の犠牲者も出さないよう「防災力の強化」を最優先に取り組みます。このほか、これまで取り組んできた県道青木東線下山工区の早期着工をはじめとした「5つの重点課題」に、引き続き取り組んでまいります。

今年度も引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



**令和6年度
生活安全委員会
活動開始**
委員長 下平泰人

2年ごとの改選期を迎え、当委員会は3月より新たなメンバーで活動を開始しました。2年間地区の皆様にはお世話になります。よろしくお願いいたします。

生活安全委員会では交通安全、防犯を中心とした活動をもって「安全で安心できるまちづくり」を目指しています。しかしながら、昨年のコロナ禍の収束以降、外出機会が増加しました。これに伴い、死亡事故を含む交通事故発生件数が全国的に増加しています。飯田市内でも、残念ながら死亡事故が発生しています。

このため当委員会では今年度も年4回の交通安全運動に連動して「人波ルート作戦」

「交通指導所」等による事故防止のためのドライバーへの注意喚起を実施します。また、保育園・小学校への交通安全教室への協力による交通安全活動、獅子舞・御神輿など地区行事の警備・交通整理を通じて地区の皆様の安全を図っていきます。

防犯に関しては、リニア新幹線、三遠南信自動車道工事等で活性化している地区内外の交流増加に伴う犯罪防止のため、昨年同様の夏冬の地区内防犯パトロールの実施、また、毎月の地区ごとの巡回パトロールを拡大して地区の状況の変化に対応できればと考えています。

最後に、自治活動に対する関心は希薄化する傾向にあります。しかし、交通災害、犯罪被害については、自分だけが気をつけていれば避けられる、という訳ではありません。お互いが信頼できるためにルールを守り、助け合いながら、自らが地域に関わり、自身や家族の生活する場であるこの地区をより住みやすいまちとするために、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

**県小学校新入生用
ランドセルカバー贈呈**

新入生用ランドセルカバー、交通安全のパンフレット、啓発グッズのばんそうこうを袋詰めし、3月22日に県小学校の新入生に贈呈しました。よく目立つ黄色のランドセルカバーには、交通事故ゼロに少しでも繋がるようにという地区役員の思いも込められています。地区全体で子ども達を見守っていきましょう。



**4月6日から15日
春の交通安全運動
が実施されました**

4月8日に、切石体育館前交差点で人波ルート作戦を実施しました。

上茶屋・切石・上山・一色・名古熊の交通指導員や名古熊交番署員など約50名が参加し、「安全運転」や「飲酒運転追放」と書かれたのぼり旗を掲げ、出勤・通学中の運転手や学生に交通ルールの遵守や交通マナーの実践を呼びかけました。



春の交通安全教室

4月23日に県小学校、5月17日に県みつば保育園にて交通安全教室が行われました。

指導員は、「しつかり手を挙げて、車を運転する人にごにこにこ！とアピールしてね。止まってくれたら渡ってね」など声をかけ、正しい横断歩道の渡り方や道の歩き方を子ども達に指導しました。子ども達も交通安全に遭わないために、交通安全教室だ

けでは限界があり、親御さんや先生の普段の声掛けが大事だと感じました。



◆◆◆ 県小学校 ◆◆◆



◆◆◆ みつば保育園 ◆◆◆

環境衛生

ごみの減量を

委員長 塚平英治

環境衛生の支部長を受けただけですが、委員長という大役を務めることに戸惑っているところですが、各支部長、女性部長、事務局の皆様のご指導、ご協力をいただき、2年間務めてまいりたいと思います。よろしくお願ひします。

ごみの減量、リサイクル、リユースには、常日頃より協力していただいていることと思います。ちよつと分別作業が面倒くさいと思うことでも、何の為かを考えてみる必要があると思ひます。近年特に、さまざまな気候変動による災害が多発しています。地球温暖化が原因と言われています。本年度飯田市では、特に燃やすごみの減量を重点項目にして取り組むこととなりまし

た。生ごみの水分を減らし、減量につなげるために、コンポストや生ごみ処理機を使用する方法も有効かと思ひます。生ごみ処理機には、市からの補助を受けることもできます。以前より思っていることですが、過剰包装のものが多すぎるように感じます。個人では難しいことかもしれませんが、過剰包装を見直すことも減量には必要です。「一人ひとりが、できることから」ごみを減らし、分別を心がけた

いものです。

次の写真は、私の地区のアルミ缶回収の様子です。リサイクルステーション、ごみゼロ運動、水辺等美化活動等、今後の事業にも引き続きご協力をお願いします。



上茶屋多目的センター

令和6年度鼎地区リサイクルステーション

毎月第1〜第4土曜日の午前7時30分から9時まで、下表のとおりリサイクルステーションを行っています。ペットボトル・ガラスびんをどこかのステーションに持ち込んでいただいても結構です。指定ごみ袋、収入証紙シールは不要です。左の図のように処理をし持ち込みをお願いします。

鼎地区リサイクルステーションのご案内

偶数月	地区	会場名
第1土曜日 (4/6・6/1・8/3・10/5・12/7・2/1)	切石	切石杉の子館(旧鼎西保育園)
	上茶屋	久米路橋際
第2土曜日 (4/13・6/8・8/10・10/12・12/14・2/8)	上山	上山区民センター
第3土曜日 (4/20・6/15・8/17・10/19・12/21・2/15)	一色	一色公民館
第4土曜日 (4/27・6/22・8/24・10/26・12/28・2/22)	名古屋熊	名古屋熊公民館駐車場

奇数月	地区	会場名
第1土曜日 (5/4・7/6・9/7・11/2・1/4・3/1)	東鼎	飯田信用金庫鼎支店駐車場
	下山	下山区民会館
第2土曜日 (5/11・7/13・9/14・11/9・1/11・3/8)	西鼎	西鼎公園
第3土曜日 (5/18・7/20・9/21・11/16・1/18・3/15)	下茶屋	下茶屋区民センター
第4土曜日 (5/25・7/27・9/28・11/23・1/25・3/22)	中平	鼎コミュニティ防災センター駐車場

ペットボトル

- 炭酸飲料、果汁飲料、緑茶、ウーロン茶、紅茶、コーヒー、スポーツドリンク、日本酒、焼酎、ウイスキーなどの容器
- しょうゆ、みりん、酢、めんつゆ、ノンオイルドレッシングの容器

対象外のもの

- 飲み物以外の容器でプラマークが付いているもの
- ソース、ドレッシング、食用油、台所洗剤、洗濯洗剤、シャンプーなど → プラ資源
- 汚れが取れないもの、加工したもの → 燃やすごみ

※このマークが目印

キャップを外す → 中をゆすぐ → ラベルをはがす

※はすれにくい中栓はそのまま。 ※キャップはプラ資源へ。 ※ラベルはプラ資源へ。

足でつぶす → リサイクルステーションへ

※泥などがつかないように

ガラスびん

飲み物、調味料の入っていたもの

- ジュース、ドリンク剤、酒類、コーヒーなどの飲み物の容器
- ジャム、海苔などの食品の容器、飲み薬の容器
- しょうゆ、酢等調味料、オリーブオイル、ごま油などの容器

対象外のもの

- リターナブルびん(ビールびん・日本酒の一升びん) → 販売店に引取ってもらう
- 農薬・劇薬びん → 販売店・購入店へ
- 化粧品びん・ガラス食器・梅漬のびん → 埋立ごみ
- 割れたびん・汚れたびん → 埋立ごみ

栓・ふたを外す → 中をゆすぐ → ラベルはそのまま

※はすれにくい中栓はそのまま。 ※栓・ふたはプラ資源または金属資源へ。

リサイクルステーションへ

3色に分ける

- 透明
- 茶
- その他

鼎地区独自事業として、リサイクルステーション時にアルミ缶回収も行っています。アルミ缶の収益金は、一部を鼎小・中学校へ寄付しています。また、残りを各地区の収集量に応じて分配し、環境事業や活動(集積所管理・美化

活動)に役立てられています。ちよつと手間をかければ貴重な資源となります。今後ともリサイクルへのご理解とご協力をお願いいたします!

鼎地区 飯田市合併30周年 記念事業

の サイクルバック

1枚 600円

鼎地区 飯田市合併30周年 記念事業

販売中!

鼎地区 飯田市合併30周年

PET

ペットボトル



委員長あいさつ
委員長 森 貴

地域の皆様には日頃より、子どもを育む委員会の活動にご協力いただきありがとうございます。

「役が人を育てる」という言葉を耳にします。役に就くと、その人は次第にその役にあった行動を取るようになり、役に見合った人間に育つという事です。

新年度、子どもを育む委員会支部長となり、そして新委員長を引き受けることとなりました。これが私の「役」です。最初の役目は、鼎小中学校の入学式、しばらくして鼎小学校見守り隊紹介式への参加でした。今年度の紹介式では全校生徒が体育館に整列することができ、コロナ禍から徐々に抜け出し本来の姿を取り戻しつつある現状をうれし



く思いました。そんな体育館に入場した時は、自分も新しい年が始まるんだと身が引き締まる思いでした。

次は全体事業が控えています。6月29日に行う子どもを育む委員会の全体事業「今年もやりますサイエンスショー」では、小学生を対象とした実験を行います。多くの皆様にご参加していただけると嬉しいです。

新年度が始まりみなさんは新しい生活に慣れてきた頃だと思えます。地域、ご家庭でも子どもたちが「〇〇係」などの「役」についているのではないのでしょうか。「役」を成長のチャンスと捉え、自信を持って取り組めるようしっかり褒めて、励ましの言葉掛けをお願いいたします。

下茶屋
『おはよう』・『行ってきます』

令和6年度も4月4日に始業式・入学式を迎えスタートしました。下茶屋支部においても『児童・生徒が安全で楽しく元気で育む地区作り』をスローガンに活動が始まりました。その皮切りとして、地区の委員5名で子どもの見守り活動(通学路の立ち番)を、自宅付近の通学路を中心に、登校が安全にできるように定期的にを行っています。いつものように児童の『行ってきます』の元気な声を聞くと、自分自身も元気をいただき、今日一日の活力に繋がります。



6月2日には公民館主催の鼎地区分館対抗体育祭(ペタペタ大会)へ参加、同月29日には我々子どもを育む委員会主催のサイエンスショーもあります。今年は巨大空気砲の



体験もあり今から楽しみです。支部活動の行事として長期休暇企画や正月のおんべなどありますが、今年は公民館と協力しての花壇作りも計画中です。小・中PTAの要望を聞きながら、児童・生徒が楽しく思い出に残るような企画が開催できると幸いです。

西 鼎
西鼎鯉のぼり祭り

五月晴れの空におよぐ鯉のぼりの下で、5月5日、西鼎鯉のぼり祭りを行いました。模擬店の昔懐かしいわた菓子や射的ゲーム、餅つき体験



なども子どもたちに好評で、水を得た魚(鯉?)のように、テントと公民館の中を楽しそうに巡って遊んでくれました。



恒例の鯉のぼりの写真大会には、他地区からわざわざ道具を持参してくれた子どもや、県外から帰省中の親子連れも参加してくれて、驚くと同時にとても嬉しく思いました。提出してもらった、保育園児と小学生それぞれの思いが込められた18枚の作品を、西鼎公民館の一室に展示して改めて眺めてみると、どれもバラエティーに富んだ本当に良い絵ばかりで、しばし子どもたちの想像の世界にいるかのような時を過ごしました。

都会から見ればほんの小さなイベントかもしれませんが、また来年も子どもたちの笑顔が集まる楽しい祭りができそうですよ、皆様のご参加をお待ちしております。

※P.S. ビンゴゲームもありますよ

健康福祉

安心して暮らせる

地域をめざして

委員長(下山) 北原 康彦

「福祉って何でしょう」一人暮らしのお年寄り、障がいのある人、子育ての悩みや不安を感じながら生活している人など、何かに困っている人たちが受けるサービスというイメージもあると思いますが、そういった人達だけが受けられるサービスのことではなく「みんなが安心して生活できるようにすること」が福祉(地域福祉)だと思います。少子高齢化や核家族化、高齢者世帯の増加、価値観の多様化などを背景に、地域社会のつながりや、地域に対する関心の希薄化等が問題となっていますが、地域の小さな困りごとは地域に住んでいる人の繋がりで見つけ出すことができるのではないのでしょうか。

それを、隣近所や地域の支え合いや助け合いで解決していくことができれば良いと思います。「みんなが安心して生活できるようにすること」は、地域に住む人たちの協力が必要なのです。福祉と健康についての健康福祉委員会の活動に、皆様方のご理解ご協力をよろしくお願いたします。



フードドライブ



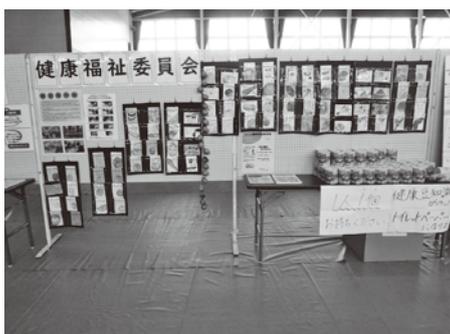
ふれあいサロン

総務運営部会の取り組み

総務運営部会長
(下茶屋) 加藤 善弘

今年度の総務運営部会では、地域の皆様と共に、次に掲げる事業に取り組みでまいりたいと思います。

- ふるさと県ふれあい広場・文化祭
 - 住民支え合いマップ(災害時助け合いマップ)の更新
 - がん検診受診率向上の取組
 - ひとり親世帯中学卒業祝賀事業(図書カードを贈呈)
 - 健康福祉委員学習会
- これらの取り組みを通して、県地区の福祉課題や健康について、興味・関心を持っていただけるように考えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



ふるさと県ふれあい広場・文化祭 展示ブース

地域健康福祉部会の取り組み

地域健康福祉部会長
(名古屋) 近藤 健

地域健康福祉部会では、今年度次の事業を計画し、運営してまいります。

- 健康講演会
 - 医師等専門家による講演
 - 各支部健康づくり教室
 - ふれあいサロンの定期開催
 - 高齢者の健康増進、健康維持、介護予防及び交流の場として
 - いきいき教室・県公開講座
 - 軽い運動や交流等を実施
 - 募金箱の設置など小さな善意運動の推進
 - フードドライブの実施
- 県地区の皆様が健康に、いきいきと暮らせるための事業を実施します。皆様のご参加をお待ちしています。



健康講演会

ボランティア部会の取り組み

ボランティア部会長
(上茶屋) 原 恵美子

今年度のボランティア部会の事業として、次のことを計画しています。

- 地域の高齢者と小中学生を結ぶ「絵手紙交流」
 - 在宅で介護されている方への支援の一助として「愛の贈り物事業」
 - 要支援世帯の把握と見守り訪問活動
 - 外出する機会の少ない高齢者の交流やふれあいの場を作る「外出支援事業」
 - 高齢者と子ども達との交流の場を創出する「世代間交流事業」
- 地域の皆様のご協力をいただき、実施いたしますのでよろしくお願いたします。



絵手紙交流

消防

切石上班 新小型ポンプ積載車納車

令和6年4月に、切石上班の新小型ポンプ積載車が納車となりました。

今回の車両はハイエース型となり、15分団では東鼎班に続き2台目のハイエース型の車両となります。今までのトラックタイプの車両と仕様が大きく異なることや、新しい装備が搭載されていることから、業者からの車両説明会を4月20日(土)に実施し、それ



切石上班新車両

ぞれの団員が新しい車両の説明を受けました。有事の際には、有効に使用できるよう訓練に励んでいきたいと思えます。

飯田市消防技術大会

今年度の飯田市消防技術大会は5月26日(日)の開催となり、例年と比較し1か月ほど早い開催となりました。

大会は消防ポンプ操作(ポンプ車、小型ポンプ)の部、救急操作の部に分かれており、15分団からはすべての部門に出場しました。

例年より練習期間が短い中、各団員が仕事の合間を縫って練習に励んだ結果、15分団の悲願であった「飯田市大会優勝」を小型ポンプの部で果たすことができました。



救急操作本番

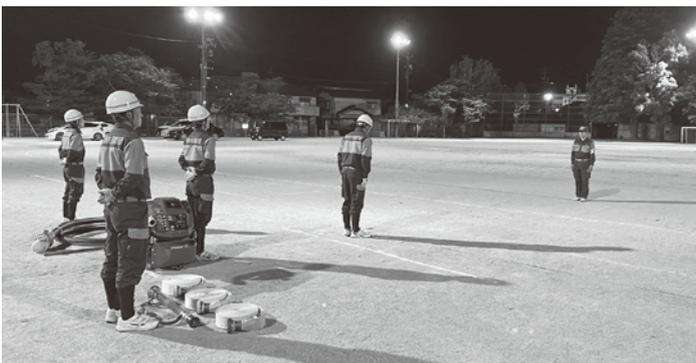
この大会を通じて得た消防・救護技術を有事の際に生かしていきたいと思えます。



小型優勝チーム及び本部長

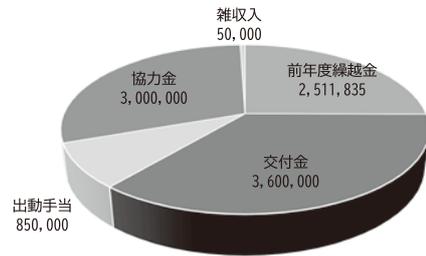


ポンプ車操作法練習風景

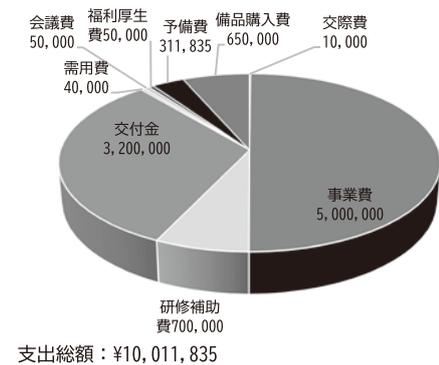


小型ポンプ操作法練習風景

令和6年度予算額 【収入の部】



令和6年度予算額 【支出の部】



令和6年度 飯田市消防団 第15分団 予算書

団員募集のお知らせ

消防団員募集

有事の際に活躍できる団員を募集しております。資格を取ることできます。(準中型免許、小型車両系建設機械など)

気になる方はお近くの消防団員、またはお近くの消防詰所までお気軽に声をかけてください。

電話

090-7247-2181

メール

aamnuakyaat.ke-aloha@docomo.ne.jp

令和6年度まちづくり委員会関係役員名簿

執行部
(区長委員長会・地域振興部会)

会 長	奥村 充由
名古熊前区長	奥村 充由
副会長(総括)	
中平区長	戸崎 敬
副会長(会計)	
東山区長	小木曾 学
総務文教部長	牧島 龍雄
上山区長	
総務文教副部長	木下 浜生
上茶屋区長	
総務文教部	小澤 澄子
切石副区長	武田 忠男
一色副区長	林 善次
下山副区長	佐々木博子
特別委員	関口 敦子
特別委員	須山 一博
産業経済部長	
一色区長	須山 一博
産業経済副部長	
西山区長	関口 明
産業経済部	
名古熊副区長	小林 精市
下茶屋副区長	木下 雅夫
特別委員	小平 彰
特別委員	関島 利雄
特別委員	倉田 広美
建設部長	
切石区長	前澤 清隆

建設副部長	木下 克志
建設部	
東山区長	宮澤 賢二
上茶屋副区長	吉澤 恒人
特別委員	山崎 昌伸
自主防災部長	
名古熊区長	奥村 仁司
自主防災副部長	
上山区長	橋本 義哉
自主防災部	
西山区長	原 章好
中平副区長	伊藤 利英
特別委員	古川 仁
広報部長	
下茶屋区長	松澤 政明
広報副部長(兼)	
上茶屋副区長	吉澤 恒人
広報部 各区副区長	
生活安全委員長	下平 泰人
子どもを育む委員長	森 貴
健康福祉委員長	北原 康彦
環境衛生委員長	塚平 英治
公民館・教育文化委員長	笹 行夫
顧問 前会長	前田 雄二
監事 一色区	本島 文男
監事 下茶屋区	熊谷 廣光

生活安全委員会

委員長	下平 泰人
上茶屋 副委員長・会計	柳平 兆
西 副委員長	北澤 直志
一色 支部長	原 典雄
下山 支部長	村上 昇
東 支部長	関島 守夫
下茶屋 支部長	黒河内守仁
中 支部長	松本 剛
切石 支部長	池戸 勝志
上山 支部長	森下 春記
名古熊 支部長	黒河内彰美
女性部部長	黒河内公子
女性部副部長	
子どもを育む委員会	
委員長	森 貴
一色 副委員長・会計	平澤 忠広
下茶屋 副委員長	山田しのぶ
上茶屋 副委員長	片桐 泰
下山 副委員長	安藤 浩治
東 副委員長	田中 亨
西 副委員長	長沼 栄二
中 副委員長	吉川 昌彦
切石 副委員長	大藏 和幸
上山 副委員長	伊原 貫司
名古熊 副委員長	

健康福祉委員会

委員長	北原 康彦
下山 副委員長・会計	村澤博富美
切石 副委員長	加藤 雅芳
一色 支部長	池田謙一郎
東 支部長	多田 尚登
西 支部長	加藤 善弘
下茶屋 支部長	桜井 陽子
中 支部長	原 恵美子
上茶屋 支部長	山崎りえ子
上山 支部長	近藤 健
名古熊 支部長	
環境衛生委員会	
委員長	塚平 英治
上茶屋 副委員長・会計	鈴木 亮弘
下茶屋 副委員長	仲田 伸久
中平 副委員長	仲田 伸久
飯田市不法投棄パトロール員	大鹿 朋幸
下茶屋 支部長	小平 彰
下山 支部長	白木 郁夫
東 支部長	前澤 秀夫
西 支部長	河地 俊宣
切石 支部長	榎 賢蔵
上山 支部長	岡島 治
一色 支部長	常盤 敏裕
名古熊 支部長	深尾 昌代
女性部長	

女性部副部長 土屋 泰子
公民館・教育文化委員会
委員長(公民館長)

女性部副部長	土屋 泰子
公民館・教育文化委員会	
委員長(公民館長)	笹 行夫
名古熊 副委員長(分館長会長)	西村 伸吾
一色 副委員長(分館長副会長)	米山 和彦
東 副委員長(分館長)	水野 和幸
下山 副委員長	中島 浩幸
西 副委員長	糊倉 健次
下茶屋 副委員長	黒河内隆史
中平 副委員長	山田 英樹
上茶屋 副委員長	仲田 明
切石 副委員長	伊坪 宗夫
上山 副委員長	小林 真一
名古熊 副委員長	
広報かなえ編集委員	
委員長	松澤 政明
副委員長	吉澤 恒人
生活安全委員会	
子どもを育む委員会	原 典雄
健康福祉委員会	松本 剛
健康福祉委員会	山田しのぶ
健康福祉委員会	大藏 和幸
健康福祉委員会	加藤 雅芳
環境衛生委員会	村澤博富美
環境衛生委員会	仲田 伸久
環境衛生委員会	鈴木 亮弘

公民館・教育文化委員会

消防団

加藤 善子
櫻井 勝司
古瀬 俊明
田澤 智也

鼎地域協議会委員 (定数21)

会長 安田 完爾
副会長 鈴木 好雄
委員 前田 雄二
委員 本島 文男
委員 奥村 充由
委員 吉川 麗子
委員 福澤 泰彦
委員 下田喜志雄
委員 関口 敦子
委員 山本美智子
委員 鈴木 勇哉
委員 加藤 京子
委員 小澤 澄子
委員 細井ひろみ
委員 日置 美奈
委員 笹 行夫
委員 北澤 未来
委員 雄長 政美
委員 小西 盛博
委員 吉澤 和人
委員 牧野内康裕

団体役員名簿

民生児童委員

会長 下茶屋 多田 雅幸
副会長 上山 田畑 久雄
副会長 上山 山本美智子
会計 名古熊 関島 学
委員 下山 杉山 伸幸
委員 西 北原 敬子
委員 東 関口 收司
委員 西 御園生睦子
委員 中 渡辺 吉博
委員 鈴木 貴子
委員 池内 弘江
委員 村上 一喜
委員 中島 千文
委員 西尾由美子
委員 宮下勢津子
委員 萱垣寿満子
委員 吉村 美幸
委員 白澤 孝子
委員 関島 孝文
委員 玉置 清子
委員 坂卷 敏夫
委員 櫻井 芳子

主任児童委員
名古熊 一色 上山
赤十字奉仕団鼎分団
分団長 福澤 豊子
副分団長 倉田麻衣子
副分団長 (会計) 桐生 好子
監事 関口 敦子
監事 齋藤 玲子
分団役員 (◎班長)

無線クラブ

消防団第15分団

下山 ◎新井 啓子
東 関口 幸子
西 木下佐知子
西 小木曾智子
下茶屋 ◎安田 剛
下茶屋 ◎武田 実
中 鈴木 美鈴
中 関島 亨子
中 菅沼加奈子
上茶屋 ◎伊藤 淑子
上茶屋 ◎中島香代子
切石 ◎坂井香代子
切石 ◎近藤 純子
切石 ◎長谷部順子
上山 小澤 嘉恵
上山 ◎佐々木博子
上山 ◎林 善夫
一色 ◎本島 優子
一色 ◎牧野内 寿
名古熊 ◎伊藤 宏恵
名古熊 ◎宮下 直美

諸団体

鼎小学校 P T A会長 御園生啓介
鼎中学校 P T A会長 御園生啓介
学校長 榎澤 直樹
学校長 鈴木 勇哉
P T A会長 鈴木 勇哉
学校長 北原 文雄
鼎壮年団長 多田 俊輔
副団長 小宮山秀登
副団長 木下 勝太
人権擁護委員 中村 京子
切石

鼎自治振興センター・鼎公民館の職員体制

鼎自治振興センター
所長 和泉 忠志
主査 田中 俊彦
主査 伊藤 真悟
主査 原 涼歌
主事 小平 朋奈
主事 岩下 優子
主事 久保田 薫
保健師 湯沢 尚子
保健師 菅 行夫
鼎公民館 館長 菅 行夫
公民館主事 青山 穂高
管理係 宮島 有子
学習支援係 坂田 寛子

【地区の人口と世帯数】

※ 住民基本台帳法の改正に伴い、「人口および世帯数」には外国人住民の方を含みます。

鼎の人口・世帯数				基準日 及び増減	飯田市の人口・世帯数			
男	女	計	世帯数		男	女	計	世帯数
6,331	6,755	13,086	5,453	令和4年4月末	47,164	50,565	97,729	40,140
0	▲ 64	▲ 64	24	増減	▲ 412	▲ 655	▲ 1,067	157
6,331	6,691	13,022	5,477	令和5年4月末	46,752	49,910	96,662	40,297
▲ 49	▲ 59	▲ 108	30	増減	▲ 541	▲ 658	▲ 1,199	99
6,282	6,632	12,914	5,507	令和6年4月末	46,211	49,252	95,463	40,396